

## 第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

### 報告書資料 復興支援 — 17

学校名・団体名	熊本市立植木小学校
コース	学校支援
活動・研究のテーマ	運動遊び等で笑顔と元気と夢をとり戻そう

#### 〈活動・研究の意義および活動報告〉

本校は、幸い地震による影響は少なかったが、平成28年度の体力テストは、平成27年度と比べると全国平均を上回っている項目が半数になった。地震の影響で遊び場等が少なくなった上、頻繁に続く余震の影響から外遊びが少なくなったことも大きな要因と考える。また、心の不安も大きく、カウンセラーの支援を受ける児童も複数見られた。そこで、「笑顔いっぱい、元気いっぱい、夢いっぱいの学校づくり」を合言葉として、体づくりや仲間づくりを通して、笑顔・元気・夢を取り戻していきたいと考えた。さらに、本年度より2年間、熊本市教育委員会の健康教育指定校として健康教育に取り組むことにもなり、テーマを「健康について関心を持ち、主体的に行動する子どもの育成～授業づくりの工夫と日常生活の実践を通して～」とし、体育・保健・食育を中心に取り組みを進めているところである。運動遊び等に必要な用具を増やし、楽しみながら十分な活動ができるようにするとともに、体力テストで落ち込みが見られた走力や投力の向上を図ってきた。

#### 1 ねらい

外遊びや日常活動、体育の授業を工夫することで仲間とのかかわりを増やし、心と体をほぐすことで、本来の笑顔と元気を取り戻すとともに体力向上を図る。

#### 2 本年度の活動の特色

- ① 体育の授業の工夫（時間割・場作り・授業の流れ等）
- ② 業間体育の充実（なわとび・持久走・サーキットトレーニング・体幹トレーニング等）
- ③ 日常活動や体育の授業での体幹トレーニングの導入（熊本大学との連携）
- ④ 体育委員会によるチャレンジ大会の計画及び実施
- ⑤ 健康教育指定校としての取り組み

#### 3 取り組みの実際と成果

##### ① 体育の授業の工夫

- ・体育館と運動場の配当は、学年が連続するように工夫したため、授業の準備や後片付けの時間を短縮することができた。その分、運動時間が確保され、以前よりもゆとりをもって体育の授業を実施できるようになっている。
- ・体力向上にもつながる動きを取り入れた本校独自の体操を作り、体育の授業時には必ず行うこととした。内容面では、投げる動作でタオルを使って行ってきたので、ボール投げを行うときにはその動きを活用する児童も多く見られるようになってきた。
- ・今回の補助金で購入した器具の活用はもちろんであるが、自作の教具や授業のめあて等が視覚化



できるように体育用黒板を製作し活用した。運動量や子ども同士のかかわりが増え、体育の授業が充実した。

- ・本年から導入されたタブレットを用いて、自分が演技する姿を動画で撮影することができた。動画を見ることで、改善点などに気づいたり、友だちへのアドバイスにつなげたりすることができ、技のポイントに気づいて練習に生かしていくことができた。

## ② 業間体育の充実

- ・週2回業間の時間に全校児童で運動を楽しみ、仲間との交流を深めるとともに体力の向上を図る目的で「すくすくタイム」を実施した。1学期は、外遊びでドッジボールを中心に実施した。9月からは固定施設を使った遊び、ボール投げ、50m走の3つを設定し、学年でローテーションして実施してきた。これは、以前から本校の体力テ



ストにおける課題であった握力、投力、走力の向上を目的としている。また、11月から1月の間は、ランニング、長縄跳びを行い、学校行事と関連した取り組みも行った。2月は、本年度の体力テストで各学年の課題となった部分を補えるものを実施した。ラダーやミニハードルの購入でたくさん場づくりができて、運動量が増えた。

## ③ 日常活動や体育の授業での体幹トレーニングの導入

- ・本校の健康課題のひとつである、「姿勢」について、学校保健委員会で取り上げた。まず、保健委員会の児童が植木小の姿勢の実態について報告し、その後、熊本大学教育学部教授井福裕俊氏に、「よい姿勢」について講話をしていただいた。そして、自分の体の歪みを確認した。また、後日全校児童の姿勢測定もしていただいた。協議では、姿勢についての合言葉を「背すじピン」と決め、授業開始のあいさつ後に行っている。そして、体幹トレーニングの要素を植木体操の中にも取り入れている。



## ④ 体育委員会によるチャレンジ大会の計画及び実施

- ・本校の委員会活動は大変活発である。その中でも体育委員会は、業間のすくすくタイムの準備や体育用具の整理等を積極的に行っている。みんなが植木体操をできるようにと、児童朝会で分かりやすく説明しながら発表をし、昼休みには練習会も行った。また、全校児童が楽しめるように全校鬼ごっこ大会も企画し実施した。

## ⑤ 健康教育指定校としての取り組み

- ・健康に関する知識理解を深めるために、毎月第1金曜日に「スキルアップタイム（健康の時間）」（15分間）を設定した。学んだ内容は、その後の学活等での保健指導や、保健室での個別指導につなげることもでき、健康に関する知識を深める上で、大変有効な時間となった。
- ・児童が自らの生活習慣を振り返り、自己の健康課題に気づき、生活習慣改善につなげることができるように、月に1回生活チェックを行っている。これにより、自分の生活の見直すべき点や前月と比べて改善されたところがわかり、生活の振り返りができた。また、保護者のコメント欄を設けたことで、家庭での声かけや、保護者の意識改善にもつながった。
- ・毎日の給食時間のうち、3分間の「食育タイム」を設定し、継続的な指導を行った。毎日のわずかな時間ではあるが、継続的に取り組んだことで、児童の食への関心が高まり、知識の定着にもつながった。
- ・全学年で給食食材生産者との交流給食を行った。生産者の方々から、野菜や豆腐を作るときの苦労や工夫、安心安全を心がけて生産している等の貴重な話をしていただき、その後の給食時間に一緒に給食を食べた。普段何気なく食べている食材であるが、生産者との交流を図ることで、しっかり味わって食べようとしている様子が見られた。



## 4 まとめと振り返り

- ・今回の助成金で運動遊び等に必要な用具が増えたため、運動量や友だちとのかかわりが多くなり、楽しみながら十分な活動ができるようになった。また、体力テストで落ち込みが見られた走力や投力の向上も重点的に取り組むことができた。この結果、学校生活で児童の笑顔や元気な姿が多くなり、ようになってきた。今後は、体育面だけではなく、健康教育をさらに充実進化させ、「笑顔いっぱい、元気いっぱい、夢いっぱい」の学校づくりに取り組んでいきたい。